

令和元年6月秋田市議会定例会一般質問者順序

秋 水 会 菅 原 琢 哉

市 民 ク ラ ブ 見 上 万 里 子

フロンティア秋田 後 藤 良

公 明 党 石 塚 秀 博

共 産 党 佐 藤 純 子

秋 水 会 細 川 信 二

秋 水 会 佐 藤 宏 悦

1 投票率向上と女性議員の増加について

(1) 市として、今後どのように取り組むのか

2 外旭川複合施設構想について

(1) 同構想と相入れられるコンパクトシティとは具体的にどのような町なのか、また、市として相入れられるまちづくりを目指す気持ちはないのか

(2) 地元経済への波及効果は限定的とした根拠は何か、また、今現在も変わりはないのか

(3) 市街化区域周辺における開発需要への対応の一貫性、行政の公平性に留意すると2月定例会の同構想への答弁の中にあっただが、具体的にはどのように留意するのか

(4) どのような構想・計画ならば本市の将来に寄与するのか、また、官民を上げて実現に向け知恵を絞るべきと考えるがどうか

(5) 同構想を直ちに協議・検討のテーブルに上げるべきではないのか

(6) 同構想にドーム型スタジアムや秋田市卸売市場の整備を加えて評価してはどうか

3 少子化は本当にとめられるのか

(1) 本市の実効性ある少子化対策は何か

4 入札参加資格要件について

(1) 実績がない業者をいつまでも参入させない入札参加資格要件を見直すべきではないか

5 ネット社会から人権を守るために

(1) 本市の取り組みはどうか

6 空き家と耕作放棄地について

- (1) 本市の空き家と耕作放棄地の現状と今後の推移及びその対策はどうか

7 イービス・アショア配備について

- (1) イービス・アショアそのものの必要性はどうか
- (2) 配備に関するメリットはどうか
- (3) 独自検証を当初9月定例会までとしたのはなぜか
- (4) 何をもって住民の理解が得られたと判断するのか

8 D N A R (d o n o t a t t e m p t r e s u s c i t a t i o n) について

- (1) 本市のD N A Rについての具体はどうか

9 小・中学校の適正配置について

- (1) 統廃合によって具体的にどのように良好な教育環境になるのか
- (2) 地域ブロック協議会における公募委員は、人数の目安をどのように想定し若干名としたのか
- (3) 廃校舎の利活用を同時進行で協議するべきではないか

10 図書館の効率的利用について

- (1) 貸し出しロッカーサービスの導入を実施するべきではないか

11 コミュニティセンターの指定管理について

- (1) 労災保険料、NHK受信料、第三者賠償責任保険に係る保険料及び火災・防犯警備に係る費用などは市が一元管理して支払うべきではないか

12 電力の地産地消について

- (1) 屋上太陽光発電に活用できる施設や空き地を把握し、民間が提供す

る太陽光発電無償設置サービスを検討すべきではないか

13 北部地域の諸課題について

- (1) 飯島サンセットパークの現状をどうとらえて、その整備を県に強力に働きかけるべきではないか
- (2) 都市計画道路大浜上新城線の整備は、地域住民に支障なく進めるよう県に働きかけるべきではないか
- (3) 下新城地区及び飯島地区における農業の基盤整備の状況はどうか
- (4) 飯島堀川地内にある「飯島老人いこいの家」近辺をグラウンドゴルフ場の新設候補地としてはどうか
- (5) 飯島地区の桜並木「サクラロード」の案内についての考えはどうか
- (6) 飯岡山の案内看板の状況と今後の対応はどうか

1 市長の政治姿勢について

(1) イーリス・アショアの配備について

ア 市職員による調査結果の検証チームを設置したとのことであるが、調査結果の検証を行うよりも、市長は、市民の不安を少しでも軽減するための方策を検討すべきではないか

イ 市長は、イーリス・アショアを陸上自衛隊新屋演習場に配備することについて、次期市長選の争点になると考えているのか

(2) 大森山動物園へのジャイアントパンダ誘致に向けた活動を再開したが、今後誘致に向けた取り組みをどのように行っていくのか

2 台湾及び中国との交流について

(1) 台湾台南市との交流において、人的交流だけではなく、農業を切り口としたビジネスについて検討してはどうか

(2) 台南市との交流を推進するに当たり、台湾と中国の国際情勢を踏まえると、友好都市である中国蘭州市との交流に今後影響はないのか

3 農林水産業について

(1) 本市では、秋田市農業ブランド確立総合戦略に基づき、「農家のパーティ」プロジェクトを推進しているが、同プロジェクトを契機とした農業分野における今後のビジネスの展望について、どのように考えているのか

(2) 本市の水産業における今後の取り組みはどうか、また、需要の多い秋田港の釣り開放を水産業の推進に活用してはどうか

4 第2次秋田市総合交通戦略について

(1) 同戦略ではマイカーへの過度な依存の見直しを推進する一方で、バスの運転手不足、バス路線の廃止や減便などの現実的な課題があることから、今後の公共交通のあり方についてどのように考えているのか

- (2) 同戦略では、新たにPDCAサイクルにおいて、毎年施策の評価改善を行うとしているが、これまでどのような改善が行われてきたのか
- (3) 次期戦略の策定に当たっては、これまで行ってきた施策の評価改善をどのように反映させるのか

5 バリアフリーの取り組みについて

- (1) 視覚障がい者に対応した各種申請書を作成し、窓口を設置してはどうか
- (2) 視覚障がい者の中には、利用できるサービスなど自身にとって必要な情報を取得するのが困難な方もいることから、視覚障がい者に対する本市の情報提供の方法を検討するべきではないか
- (3) 本庁舎内で点字ブロックがない箇所のうち、視覚障がい者が利用する窓口前に、歩行誘導ソフトマットを設置すべきと考えるがどうか
- (4) 公共交通の利用に際しての意見等を伝えるため、市が主体となって視覚障がい者団体と公共交通事業者との情報共有や意見交換を行う場を設置すべきと考えるがどうか
- (5) 車いす利用者が各市民サービスセンターに多く集まる場合、車いす利用者のための駐車場の確保にどう対応しているのか

6 障がい者の就労支援について

- (1) 障がい者が自立するためには、多様な就労支援が求められるが、今後どのような分野での取り組みを行っていくのか

7 教育行政について

- (1) 学校では、毎年自己評価及び学校関係者評価書を作成して公表しているが、その後の教育行政にどのように反映しているのか
- (2) 登下校時の重い荷物による児童生徒への負担について、各校で荷物の量や重さに配慮し、改善されてはいるものの、依然としてその対応に差が見られることから、教育委員会で一定のルールを設けるべきではないか

(3) 県内他市では、スポーツ少年団の活動時に体育館の暖房の使用が認められているが、本市でも暖房の使用を認めてはどうか

8 保育行政について

(1) 今年度当初も昨年度に引き続き、保育所等への待機児童ゼロを達成したのか、また、幼保連携型認定こども園で不適切な支出があったが、保育所等への入所に関して影響はなかったのか

(2) 幼保連携型認定こども園での不適切な支出において、今後このような事態が起こらないよう、本市ではどのように対応していくのか

9 交通事故等の被害を減らすための取り組みについて

(1) 公用車にドライブレコーダーを搭載するべきではないか

(2) 保育所等の散歩コースを調査し、関係機関や各町内会とも連携して児童の安全確保に取り組む必要があると考えるがどうか

(3) 本庁舎における防犯対策はどうか、また、万が一の場合に対応するための防犯設備は整っているのか

1 イージス・アショアの配備について

- (1) 防衛省は、住民への安全対策として、700メートルの緩衝地帯の確保や部隊の増員などを行うとしているが、住民は有事の際に標的となることに不安を感じており、防衛省の対応と市民の感情にずれがあると感じるが、市長は防衛省の安全・安心の具体的措置についてどう考えているのか
- (2) 6月5日の全員協議会において、防衛省は今後の洋上風力発電施設の設置に対する規制等に対し、詳しいデータがなく答えられない、規制を加えることは考えていないといった答弁をしており先行き不透明であると感じたが、市として、今後、風力発電の導入を促進する考えに変わりはないのか

2 地域の活性化及び交流人口の拡大について

- (1) 川反サンバカーニバル等、イベントの開催とともに周辺店舗の消費拡大など、地域の活性化及び交流人口の拡大に寄与するイベントは継続できるよう支援すべきと思うがどうか
- (2) 市民サービスセンターの利用予約を1カ月前からとしている理由は何か、また、公共施設で市民が自主的に行うイベント等に関しては、開催のPRなどに一定期間が必要であることから、予約を柔軟に対応すべきと思うがどうか
- (3) 中学校においてダンスが必修化されたことに伴い、今後、若者の間でダンスが盛んになることが予想されることから、県・市連携文化施設及び各市民サービスセンターの諸室において全身が映る鏡を設置する考えはないか
- (4) 大森山動物園へのジャイアントパンダの誘致について
 - ア ジャイアントパンダの導入による費用対効果をどのように考えているのか、また、今後、どのように誘致活動を展開していくのか
 - イ 誘致実現に向け、獣舎の設置場所や建設費、エサに係る費用など

について、具体的な計画を策定し検討すべきと思うがどうか

- (5) 東京オリンピックで正式種目となったスケートボードの施設について、近年、他都市で整備計画が相次いでいるが、本市でも若者の定住や交流人口の拡大などを目的に、スケートボード等ができる場所を確保すべきと思うがどうか、また、将来的にスケートボードパークを新設する考えはないか

3 子育て支援について

(1) 在宅子育てサポート事業について

ア 今年度より在宅子育てサポートクーポン券の交付対象年齢をゼロ歳まで拡大したが、同事業の周知は十分に図られているのか、また、出生届の提出時に申請書等を渡すべきと思うがどうか

イ 同事業を発展的に見直し、本市に住民登録するすべての乳児を対象にすべきと思うがどうか

4 小中学校の教室等の暑さ対策について

(1) 現在の取り組み状況はどうか、また、体調を崩した児童生徒への対応はどうか

(2) 最近の本市の気象状況を考えると、小中学校の教室等へのエアコンの設置は急務であると考えますが、現状をどのように考えているのか

5 高齢者の交通事故抑止策について

(1) 近年増加している高齢者による交通事故の抑止策として、衝突被害軽減ブレーキ等を搭載した先進安全自動車の購入費用に対して助成してはどうか

6 地域の諸課題について

(1) 広面近隣公園の一部を駐車スペースとして常時開放すべきと思うがどうか

1 古川及び猿田川流域の総合的な治水対策等について

- (1) 昨年10月16日、市長は、本市における豪雨災害に伴う対策への支援について、国土交通大臣に直接要望し、その場で大臣から災害対策支援に係る言葉を聞いた際、本市の首長としてどのようなことを感じたのか、また、災害に強い安全・安心な暮らしの確保に向けた決意はどうか
- (2) これまで3回開催してきた古川流域の総合的な治水対策協議会において、古川及び猿田川流域の浸水被害を引き起こした主な要因を、どのように分析しているのか
- (3) 平成30年度までに各機関において実施した浸水被害を軽減するための当面の対応策と、昨年度に引き続き実施予定の浸水対策はどうか、また、その取り組みによってどのような効果が期待できるのか
- (4) 今後の総合的な治水対策のメニューについて、どのような組み合わせによるハード対策を考えているのか、また、現時点において、経済的検討も含め、その候補選定はどうか
- (5) 古川及び猿田川流域には、周辺の地盤よりも低いため周囲から水が集まってきて浸水してしまう地区が複数存在するが、局所的な浸水被害軽減策について、どのように考えているのか
- (6) 自然災害の頻発化、激甚化が進む昨今において、地域住民のためにスピード感を持って治水対策に係る検討を進めることが重要なポイントになるが、国、県及び市が連携した、より効率的かつ効果的なハード対策メニューの策定をいつまでに完了させ、設計や建設に移行する時期をどう想定しているのか
- (7) 本市全域の災害時における安全確保のためのソフト対策について、現在検討を進めている、または、今後検討を予定している対策にはどのようなものがあるのか
- (8) 古川流域の総合的な治水対策協議会では、実現可能な対策案としてソフト対策の検討が必要であり、今後、その進展を図りたいとしている

ることから、本市の防災安全対策課も同協議会の委員に加わり、より中身の濃い協議を重ね、防災安全対策に貢献すべきと考えるがどうか

2 子育て支援について

(1) 幼児教育・保育の無償化の対象について

ア 就学前の障がい児の発達支援、いわゆる障がい児通園施設と幼稚園や認可保育所を並行利用している場合、いずれも無償化の対象となるのか

イ 障がい児通園施設と認可外保育施設等を並行利用している場合、いずれも無償化の対象となるのか

ウ 幼稚園と認可外保育施設等を利用している場合、認可外保育施設等は無償化の対象となるのか

エ 幼稚園の預かり保育を無償化の対象とするためには、認可保育所等へ入所申し込みを行い入園できなかったことが要件となるのか、また、2号認定の取得が要件となるのか

オ 3歳から5歳までの無償化の開始時期は、どのようになっているのか、また、幼稚園と保育所において違いはあるのか

カ 認可外保育施設等については、保育の質を担保する必要があると考えるが、国が定める指導監督基準を満たしていない場合でも無償化の対象となる5年間の経過措置期間中において、無償化の対象となるための要件はあるのか

キ 居住している自治体以外の自治体の認可外保育施設等を利用した場合も無償化の対象となるのか

(2) 幼児教育・保育の無償化に係る費用の支払い方法について

ア 認可外保育施設等を利用する場合、無償化に係る費用の支払い方法は、現物給付となるのか、それとも償還払いとなるのか

イ 障がい児通園施設を利用する場合、無償化に係る費用の支払い方法は、現物給付となるのか、それとも償還払いとなるのか

(3) 幼児教育・保育の無償化によって軽減される本市の一般財源を活用したさらなる子育て支援の充実と少子化対策について、どのように考

えているのか

- (4) 子育て安心プランの取り組み開始から1年が経過し、本市における保育の受け皿の拡大、保育人材の確保及び保育の質の確保等はどのように進展したのか、また、今後の見通しはどうか

3 水道事業について

(1) 災害等に強い浄水場の整備について

ア 上水道には、災害時であっても水を安定して供給しなければならない重要な役割があり、強い地震の揺れに伴う液状化現象の発生に対応するため、浄水場における建築物は液状化に強い杭基礎構造とするのは当然とるべき対策であるが、日本海中部地震において下水道のマンホール、管路などが浮き上がる経験をしている本市としては、建物以外の施設の液状化対策についてどのように考えているのか

イ 秋田市洪水ハザードマップにおいて、洪水時に仁井田浄水場は50センチメートルから3メートルの範囲で浸水すると想定されており、仁井田浄水場更新基本計画では、その対策として、浸水しないとされる高さまで盛土し地盤を高くすることで、浄水場全体の浸水対策を図るとのことであるが、盛土の高さはどの程度と考えているのか、また、その根拠は何か

(2) 水の学習館における水道事業の啓発等について

ア 仁井田浄水場の更新に合わせ、水の学習館が持つ機能、内容を見直し、斬新なアイデアを取り入れながら、さらに充実した施設にするとともに、より一層PRに努めるべきと考えるがどうか

(3) 配水ブロックシステムについて

ア 将来的な配水バランスを確保するために一部編成がえをしたり、引き続き配水ブロック化を進める上で、留意すべき点は何か

イ 本市の配水区域のブロック化の進捗状況はどうか、また、配水ブロック化の完成はいつごろになると見込んでいるのか

ウ 今後、配水ブロック化が仁井田浄水場更新事業と時期的に重なる

ことになるが、配分される予算等で相互の進捗に影響はないのか

4 イービス・アショアの配備について

- (1) これまで防衛省が「地元の理解が必須」とし、「誠意を持って丁寧な説明をする」と繰り返し言ってきたにもかかわらず、住民との信頼関係を著しく損なうことになったこのたびの言動不一致の事態を、市長はどのようにとらえているのか
- (2) そもそも、市長にとっての「検証」とは何なのか、また、配備の是非の判断に二、三年もの期間をかける理由は何か
- (3) 知事がイービス・アショア配備の是非について判断を下す時期に合わせ、市長も決断すべきと考えるがどうか

1 市長の政治姿勢について

(1) イージス・アショアの配備について

ア 配備することにより、市民の命と財産を自治体の首長として守ることができると考えているのか

イ 反対の意思を明確にすべきではないか

(2) 10月から実施するとしている消費税増税について

ア 市民生活への影響をどう考えているのか

イ 凍結を求めるべきではないか

(3) 子供たちの学ぶ環境整備のため、予算を増額し学校施設の長寿命化計画を前倒しで進めるべきではないか

2 教育について

(1) 学校施設について

ア すべての教室にエアコンを設置すべきではないか

イ 給排水設備や雨漏り、トイレの改修などを早急に進めるべきではないか

(2) スクールバスについて

ア 児童生徒や保護者などの意向を踏まえた運行をすべきではないか

3 住民福祉について

(1) 国民健康保険税の負担軽減について

ア 高校生以下の均等割は減額・免除すべきではないか

イ 国に対し、公費投入の増額を求めるべきではないか

(2) 秋田市版ネウボラの充実について

ア ネウボラ以外の妊娠届を受け付けている窓口での対応を充実させてはどうか

イ 国の産後ケア事業を実施すべきではないか

(3) 高齢難聴者の補聴器購入について

ア 市独自に助成すべきではないか

イ 国に対し、補助制度の創設を求めるべきではないか

4 固定資産税の減免について

(1) 納税義務者が施設入所や入院などで居住地を長期不在している場合も、減免対象にすべきではないか

5 家庭ごみの有料化について

(1) 家庭ごみ処理手数料相当額の用途は減量対策以外に使うべきではないと考えるがどうか

(2) 同手数料の見直しを行い、市民に還元すべきではないか

1 移住・定住の促進について

- (1) 平成30年度以降の移住・定住関連事業による若者世代の移住促進の実績はどうか、また、今後、同関連事業のより効果的なPRについてどう考えているのか
- (2) 女性向けのAターン支援についても積極的に行う考えはないか
- (3) 子育て世代の移住者を意識した公園のあり方、特色の出し方などを検討し、特に住宅地周辺の近隣公園や街区公園等について、さらなる環境の整備や大型遊具の設置などにより魅力を高める考えはないか

2 子供の安全確保について

- (1) 交通事故から子供たちを守るため、通学路などの路面のカラー化や路面標示の工夫等により事故防止が実感できていることから、市内全小中学校及び幼稚園・保育所等の周辺など、より多くの場所で実施する考えはないか
- (2) 通学時における子供の安全確保の方策についてどのように考えているのか
- (3) なり手不足や高齢化が懸念されている地域見守り隊や交通指導隊などの隊員確保について、どのように考えているのか

3 新学習指導要領について

- (1) 来年度から本格実施となる小学校でのプログラミング教育や外国語教育についての準備状況はどうか
- (2) 改訂のポイントにもある文化財の理解や伝統芸能に対する教育の充実、地域の特色を生かした取り組み等について、教職員の多忙化や人事異動により十分に実施できないことが懸念されるがどうか
- (3) 積極的なICT活用のための環境整備についての準備状況はどうか

4 幼児教育・保育について

- (1) 次期子ども・子育て未来プランの策定に当たり、今後の幼児教育・保育施設整備のあり方についてどう考えているのか
- (2) 障がい児保育に関する加配増額について
 - ア 障がい児保育に対する保育士加配分の補助金の増額交付を積極的に進めるべきと考えるが、昨年来行っている調査・研究の状況はどうか
 - イ 重・軽度による配置基準を設け、早急に増額すべきと思うがどうか
- (3) 保育士の人材確保について
 - ア 平成29年度から検討している保育士に対する家賃補助について、早期に実現すべきと思うがどうか
 - イ 保育士の人材を確保するため、待遇の改善を初めとして本市で働くことの魅力づくりを考えるべきと思うがどうか
- (4) 幼児教育・保育の無償化について
 - ア 幼児教育・保育の無償化に伴う給食費の実費徴収分については、全世帯公費負担とすべきではないか
 - イ 現在本市独自の施策の実施により保育料無償化となっている世帯については実質的に負担増となることから、当該世帯については給食費を公費負担にすべきと思うがどうか

5 津波に対する防災対策について

- (1) 津波シミュレーションシステムについて
 - ア 同システムの完成に伴い、土崎地区での避難行動シミュレーションの体験会を実施した際に市民からどのような意見が出されたのか、また、その意見への対応や同システムの修正等についてはどう考えているのか
 - イ 児童生徒への防災教育という観点から、津波シミュレーションシステムの今後の活用方法をどのように考えているのか
- (2) チャレンジオフィスあきたは津波避難ビルに指定されているが、同オフィス移転後の周辺の老人福祉施設や複数の保育所等の避難先はど

うなるのか

- (3) 秋田市津波避難計画における市が実施する津波避難訓練について、今年度実施する予定はあるのか、また、毎年実施している総合防災訓練においても津波避難訓練を行う考えはないか
- (4) 寺内地区及び向浜地区の工場集積地域においては、早急に避難経路の確定が必要と考えるが検討状況はどうか、また、同地域で働く人たちからは、寺内地区には避難階段、向浜地区には避難タワーの早期建設が望まれているがどうか

6 ジャイアントパンダの誘致について

- (1) 8年前に一度断念した誘致活動を再開した理由は何か、また、本市を選定してもらうためのアピールポイントは何か
- (2) ジャイアントパンダが導入された場合の本市への経済波及効果についてどのように考えているのか、また、年間約1億円ともいわれるレンタル料の支払いなど費用対効果についてはどうか
- (3) ジャイアントパンダの導入に対する大森山動物園の受け入れ態勢はどうか

7 街の明かりについて

- (1) 町内会が結成できないことで防犯灯が設置できない地域への対応について、市としてどのように考えているのか
- (2) 商店街や町内等の団体に設置し維持管理してきた街路灯について、老朽化などにより危険な状態が散見されるが、住民の高齢化等によりみずからの修復や撤去が困難となってきたことから、安全面も考慮し行政で担っていくことも必要と考えるがどうか
- (3) 羽州街道周辺の魅力発信やまち歩き推進のため、新たに街道沿いに統一したデザインの街路灯を設置してはどうか

8 保健所の臨時営業許可について

- (1) イベント等での仮設店舗による臨時営業許可の申請については、行

政の主催、共催、後援などと同様に、商工会議所やJAなど行政に準ずる団体等が後援などをする場合も許可すべきと考えるがどうか

9 秋田港の振興について

- (1) セリオンリスタ及びイベント広場は県の管理となっていることから、今後別々の指定管理者が選定された場合、イベント等の開催や施設の利用に際して支障を来すこともあるため、県と連携して選定を行うべきと考えるがどうか、また、将来的に当該施設を県から譲り受け、市として一括して管理すべきと考えるがどうか
- (2) 観光面での効果、需要が見込めるクルーズ列車の一般利用について、JRや県とはどのような協議を行っているのか、また、秋田港海の祭典や全国豊かな海づくり大会など各種イベントでの活用をどのように考えているのか、さらに、毎回のクルーズ船来航時にも一般の人が利用できるようにすべきと考えるがどうか
- (3) クルーズ船来航情報を市民で共有し、市民総出のおもてなしをするために、クルーズ船来航情報の告知看板の設置や告知ポスターの掲示などを行い、まずは地元市民への周知を徹底すべきと思うがどうか

10 地域の諸課題について

- (1) 事業開始から3年目を迎える土崎港曳山行事ユネスコ無形文化遺産登録記念事業の継続や、当該事業費と北部市民サービスセンターにおける地域振興費との合算などについて、地域の団体と早急に検討する必要があると考えるがどうか
- (2) 北部地域にある各施設の今後のあり方と連携について
 - ア 上新城地区の農山村地域活性化センター「さとぴあ」について、市民のニーズにこたえ、今後より多くの方々に認知、利用してもらうための方策はどのように考えているのか、また、上新城地区コミュニティセンターと一体的に管理する考えはないか
 - イ 油谷これくしょん及びその所有物について、他施設と連携しての展示などは相乗効果が得られると考えるが、今後の有効活用をどの

ように考えているのか

ウ 各施設の指定管理者等が、物品の常時販売など、より効果的に施設を運営できるよう条例の見直しや規制を緩和すべきと思うがどうか

エ 各施設が連携することは相乗効果が生まれるほか、地域観光の回遊にもつながり有意義なものと考えているが、所管部局が異なるために横の連携が不十分であることから、情報交換や合同のイベントなどを協議する庁内連絡協議会等を設置する考えはないか

1 人口減少対策について

(1) 本市の人口減少対策の成果はどうか、また、その成果をどのように評価しているのか

(2) 移住促進について

ア 移住相談八重洲センターの具体的な目標は何か、また、その目標をどのように達成していくのか

イ 人口減少対策を積極的に進めるためには、移住相談センターの設置数、予算、人員等をふやすなど、取り組みを強化すべきと考えるがどうか

ウ 外国人の移住・定住の実態はどうか、また、移住しやすい環境となっているのか

(3) 人口減少対策の取り組みの一環として、地域単位あるいは家族単位など、身近でできることから始められるよう、市としてそのような機運を醸成していくべきではないか

2 本市のまちづくりについて

(1) 市街化区域と市街化調整区域間におけるまちづくりにかけるコストの違いや市民生活上の利便性の格差に対する認識はどうか、また、市としてコストと利便性のどちらが重要と考えているのか

(2) 次期総合都市計画の策定に当たっては、市街化調整区域における介護施設の建てかえに係る取り扱いを盛り込むべきと思うがどうか、また、施設利用者の利便性の向上の観点から、建てかえの要望の多い市街化調整区域を市街化区域へ編入することは考えられないのか

(3) 秋田市総合都市計画について

ア 第6次秋田市総合都市計画に基づき、平成23年以降の10年間本市のまちづくりを進めてきたが、社会情勢等の変化にどのように対応したのか、また、現時点における同計画に対する評価はどうか

イ 今後10年の社会情勢の変化をどのように想定しているのか、また、

次期計画に盛り込むべき点は何か

3 外旭川複合施設構想の実現について

- (1) 同構想について、民間とともに検討チームを設置すべきではないか
- (2) 自動運転など、A I を活用した最先端都市機能を持つまちづくりに同構想を生かす考えはないか

4 幼児教育・保育の無償化について

- (1) 予想される対象の子供の人数、対象施設数及び市の負担額は、どの程度増加すると見込んでいるのか、また、市の負担が増加した際の財源は何か
- (2) 無償化により保育児童が増加に転じた場合の受け入れ体制は十分と考えているのか、また、認可外保育施設等における保育の質の低下が懸念されるが、対応をどのように考えているのか
- (3) 国では、通園送迎費、食材料費及び行事費については、無償化の対象外としているがその理由は何か、また、市として無償化する考えはないか

5 保育現場の安全管理について

- (1) 本市では、大津市での交通事故を受けて、各保育所に対して安全管理の徹底を指導したとのことであるが、その内容はどのようなものか
- (2) 散歩コースの安全対策について
 - ア 散歩コースで予想される事故の未然防止及び事故発生時の対応マニュアルを作成し、各保育所に徹底させる必要があると考えるがどうか
 - イ 舗装道路の穴、ふたのない側溝及びカーブミラーのない見通しの悪い交差点など、危険箇所の改善要望は多岐にわたるが、市としてどのように対応していくのか、また、そのような問題を解決するための体制は構築されているのか

ウ 各保育所周辺の交差点には、ガードレールなどを設置すべきと思うかどうか

6 高齢者の自動車運転免許証の返納について

- (1) 免許証返納者の自動車の代替となる交通移動手段について、どのように対応していくのか
- (2) タクシーの相乗り環境の整備、バスの無料利用券の発行など、市は率先して高齢者が免許証返納を容易にできるような環境づくりに取り組むべきと考えるかどうか

7 自治体ポイントの活用について

- (1) 総務省が中心となっているマイキープラットフォームへ積極的に参画してはどうか
- (2) 本市では自治体ポイントの活用をどのように進めていくのか
- (3) 自治体ポイントを手数料・使用料として利用できるなど、庁内におけるキャッシュレス化を進める考えはないか

8 8050問題等について

- (1) 本市の引きこもり状態にある方の現状について調査・把握しているのか、また、本市の傾向をどのようにとらえているのか
- (2) 引きこもり対策として、地域や行政の役割をどのように考えているのか、また、家族への支援、精神的なケア及び社会参加の呼びかけなどが考えられるが、どのような取り組みを実施しているのか

9 都市計画道路「上北手御所野線」の早期着工について

- (1) 南ヶ丘ニュータウンから横山金足線などを結ぶ、都市計画道路「上北手御所野線」の整備は急務と考えるが、早期着工する考えはないか
- (2) 同ニュータウンの秋田県立秋田きらり支援学校は、市の福祉避難所に指定されているが、車両が通行可能な道路が1カ所しかない立地の指定は適切であると考えているのか

10 農作物の鳥獣被害について

(1) 鳥獣被害の現状はどうか

(2) タヌキ、ハクビシン、モグラ、イノシシ、クマ、カモシカなどの鳥獣被害による防止策は何か、また、今後の課題をどう考えているのか